



二中だより

さ と く う つ く し く た く ま し く

天童市立第二中学校だより 第5号 令和7年7月10日 文責：校長 五十嵐由美子

地域を学ぶ 地域で学ぶ 地域の方から学ぶ

浴衣って かわいい！ かっこいい！ …… 1学年「浴衣着付体験」 ……

1学年家庭科の「衣生活」の学習では、日本の伝統である和服についても学んでいます。日常的に着る機会が少ない和服に興味を持つというねらいで、6月27日に「呉服のささき」様のご協力のもと、授業で浴衣の着付け体験を行いました。

初めて浴衣を着た生徒も多く、袖を通した途端にわくわくとした表情に。上手な前身ごろの合わせ方や帯の締め方のポイント、たたみ方など、講師の先生方に丁寧にご指導いただきました。浴衣姿の生徒からは、

「普段着ている服と布の素材が違う？」「思ったより動きやすい」「ここ(脇)が開いているんだ！」と、さまざまなつぶやきが聞こえてきました。授業の終わりには、「もう脱ぐんですか！」「浴衣で授業を受けてはだめですか？」と、声があり、浴衣姿がとても気に入った様子でした。これからも日本の伝統文化に関心を持ち、体験を通してその良さや魅力を感じたいですね。



天童のことをもっと知りたい …… 1学年総合「地域探訪～わがまち天童」……

1学年では、自分たちが住む天童市の魅力を探究する学習を行っています。班ごとに探究領域とテーマを決め、7月1日には、班ごとに市内のさまざまな場所を訪れ、調査やインタビュー活動を行いました。伝統、農業、伝統産業、教育、観光、商業、歴史、製造と様々な分野の領域の中から選んだテーマにそって、事前調査を行い、訪問研修後は、まとめの活動とプレゼンテーションを行う予定です。

先日、ある大手建設・不動産会社の調査で、天童市は山形県内で「街の住みごち」2年連続1位という発表がありました。天童の魅力はさまざま。まだまだ知らない天童の良さ、たくさんありそうです。

■□■ お礼状の中から(抜粋) ■□■

・教えていただいた中で一番心に残ったのは「人に対しての思いやり・ありがとう・ごめんなさい」が言える、行動に表すことが、社会に出ていく上で大切だということです。

・今回の見学を通して、食べ物や将棋など天童市の様々な特色を知りました。僕は天童市にはいいものがたくさんあって、それをこんなに身近に感じられる場所があることがとてもすごいことだと思います。次は自分たちで素晴らしい天童を作りたいと思いました。

ご協力くださった地域のみなさま、どうもありがとうございました。



「はたらく」とは？ 私はどう生きるか？ … 2学年総合「職場体験」……

キャリア教育の一環として、2学年では「職場体験」を行っています。これまで、なぜ学ぶのか、なぜ働くのか、どの職業にどんな人が向いているのか、といったことを授業の中で学んできました。そして、実際に働くことを経験する中で、仕事や働く意義、人としての生き方について学んだり、社会人として働くときの態度や礼儀を身につけたりするために、7月1日、2日の2日間に渡り、市内33カ所の事業所等のご協力のもと職場体験を行いました。事前に自分たちで事業所へ電話をしたり、打ち合わせに出かけたりと、これまで経験したことのない緊張の場面もありました。そして、2日間の職場体験では、各事業所で、さまざまな仕事をさせていただいたり、そこで働く方からお話を伺ったりと、大変学びの多い時間になりました。

ご協力くださった事業所のみなさまに心より感謝いたします。

■□■ 実習日誌より ■□■

【福祉施設】利用者の方が笑顔になってくれた時や、「ありがとう」と言われたときにやりがいを感じ、とてもうれしかった。慣れない環境での作業や利用者の方とのコミュニケーションに苦労した。特にコミュニケーションを取る時、相づちや質問をして会話を続けられるようにすることに力を入れた。

【飲食・食品販売店】常に笑顔でいることが大切だと教えていただいた。合っているか、ダブルチェックをし、確認することが大切だった。仕事であってはならない事が「間違い」だと学び、私も日頃から確認をしていきたいと思った。これからも、笑顔であいさつしていきたい。

【保育・幼児教育施設】先生の気配りが素晴らしいと思いました。何か困っている子がいないか、危ないことをしている子はいないか、細かく気にかけていました。大人の注意力が大切だと学びました。

【観光果樹園】今日教えていただいたことは、今の農家の現状やサクランボの収穫法です。お話を聞いて、将来私も農家になりたいという気持ちが強くなったと感じます。

★ Welcome to Tendo. Welcome to Nichu! ★

天童市の姉妹都市であるニュージーランドのマールボロウ市から、青少年大使として Phineas McFadden さんが、7月2日から3日間、二中で日本の学校生活を体験しました。

平成3年より、姉妹都市交流の一環として、3月に天童の中学生がマールボロウ市を訪問し、7月にマールボロウの中・高生が天童に訪れるという交流を行ってきました。Phineas さんは、生け花や和紙でのうちわ作り、みたらし団子づくりなどの日本文化体験を行ったり、3学年レクに参加したり、3年1組で授業を受けたりしました。NZの学校にはない、給食や清掃も体験し、何よりも生徒の皆さんとすっかり打ち解け、終始笑顔で過ごしていました。生徒のみなさんも積極的に英語でコミュニケーションを取っていました。3年1組の皆さんからもらった英語の寄せ書きを携え、日本でのたくさんの思い出と共に帰国したことでしょう。



